

決算審査特別委員会審査報告

委員長 今村定一

平成15年度決算審査特別委員会は4日間にわたる慎重審議の結果、一般会計・特別会計・事業会計の全議案とも賛成全員または多数によって認定しました。審議の内容は以下の通りです。

***出納室** 有価証券の時価及び株数について、現況の情勢から価格の上昇は考えられない。むしろ下がっているかもしれない。主な株数は東北電力5千492株、新潟放送1千600株、北越急行1千50株など。
***総務課** ITの導入による全体経費及び効果についての議論が集中。人員削減効果としては結論はまだ先。各種団体に支払っている負担金・補助金等の見直しには時間を要する。路線バスの運行に利用者が少ないことについては今後検討する。

***税務課・収納課** 税の誤課税は現在はない。平成15年度末の滞納額は19億1千863万5千円。
***管財課** ノリタ跡地の有害物質の調査が今後の大きな課題となる。費用的にも数億円を要する。岩原町有地の貸し付け問題については協議をして行く。
***福祉保健課** シルバー人材センター補助金は生きがい対策として助成しているが、今後内容を精査する。
***産業観光課** 町内循環バスゆうゆう号の運行内容は利用者6千人、運賃収入百万円程。
***建設課** 駅東口広場駐車場管理の費用対効果については、管理時間の短縮等を考え再検討する。
***社会教育課** 大和神楽・雪おろし太鼓等の活動と披露時の広報について今後は館報等で周知する。

スキーリフト等共通乗車証の期間を延長する要望に対しては、確約は出来ないが努力する。ジュニアスキー選手育成補助金は、バス運転・指導者等の謝礼である。映画・コンサート等の実施については費用対効果を考えて事業の実施をする。
***学校教育課** 学校給食は事業の見直しのなかで民間委託の考えは無い。
***水道課** 下水道会計への一般会計繰入金が多額である。解消するには加入者を増やし、料金の値上げをするしかない。水洗化率の向上には地域ごとに戸別訪問をする。
***観光事業** ロープウェイの営業は地域への波及効果があることから継続する。経費削減は不採算部門の廃止・縮小、借地の値下げ交渉。人件費の削減では、職員の本庁異動、年間雇用パートの廃止、冬期従業員の町内優先雇用、ロープウェイ料金100円の値上げ等を進めていく。町民には広く観光事業会計の現状を周知していく。

平成15年度特別会計決算討論

平成15年度水道事業会計 決算に対する賛成討論

柿崎直治

平成15年度水道事業会計決算に対し賛成の討論を行います。

この会計は平成10年度決算においては未処理欠損金2億150万という大きな欠損金を計上していた会計でありました。それが15年度決算において5年間という短期間で2億円の累積欠損金の解消はじめ、660万の純利益を計上したことは、大いに評価する所であります。これは職員数の削減、事業の効率化への努力、経常経費の削減などすべてにおいて企業体質の改善に努めてきた結果です。人間の生活にとって水は命の源であり、それゆえ水道事業は最も基礎的な住民サービス事業です。

平成15年度観光事業会計 決算に対する反対討論

南雲和夫

15年度決算に一般会計より8千万円の繰入補正を行ったことをうけ、「15年度決算数値が明らかになった時点において、